

ポーランド
ワルシャワ国立
フィルハーモニー管弦楽団
ショパン・ガラ・コンサート

Warsaw Philharmonic Orchestra
Chopin Gala Concert



© Shuhei Tsunekawa

ピアノ:
小林愛実



© Grzegorz Mart

指揮:
アンナ・スウコフスカ-ミゴン



© Claire Chen

ピアノ:
クシシュトフ・ヤブウォンスキ



ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団
© Grzegorz Mart

出演

指揮: アンナ・スウコフスカ-ミゴン Anna Sulikowska-Migoń, *Conductor*
ピアノ: クシシュトフ・ヤブウォンスキ Krzysztof Jabłoński, *Piano* [協奏曲第1番]
ピアノ: 小林愛実 Aimi Kobayashi, *Piano* [協奏曲第2番]
ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 Warsaw Philharmonic Orchestra

曲目

ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op.21 Piano Concerto No.2 in F minor Op.21
第1楽章 マエストロ 第2楽章 ラルゲット 第3楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ
1st Mov.: Maestoso 2nd Mov.: Larghetto 3rd Mov.: Allegro vivace
ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 Piano Concerto No.1 in E minor Op.11
第1楽章 アレグロ・マエストロ 第2楽章 ロマンズ、ラルゲット 第3楽章 ロンド、ヴィヴァーチェ
1st Mov.: Allegro maestoso 2nd Mov.: Romanze Larghetto 3rd Mov.: Rondo Vivace

2025.8.31^(日) 18:00開演 EXPOホール-シャインハット

主催: ポーランド国立ショパン研究所 / 2025日本国際博覧会ポーランドパビリオン
共催: ポーランド文化国家遺産省
協力: ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

Organized by: The Fryderyk Chopin Institute / Polish Pavilion at the 2025 World Expo, Japan
Co-organized by: Ministry of Culture and National Heritage of Poland
Supported by: Warsaw Philharmonic The National Orchestra of Poland

ポーランド ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

ショパン・ガラ・コンサート

Profile



©radoslaw_kazmierczak

アンナ・スウコフスカ-ミゴン(指揮) Anna Sulikowska-Migoń, Conductor

ポーランドのクラクフ生まれ。2022年ラ・マエストラ国際指揮者コンクール優勝。以来、ワルシャワ・フィルをはじめとするポーランドの主要オーケストラと定期的に共演。2023年グシュタード音楽祭指揮者アカデミーにてネーメ・ヤルヴィ賞を受賞。2022～2024タキ・オルソップ指揮者フェローシップ受賞。2024年1月にはフィラデルフィア管にデビューし、評論家の絶賛を浴びた。2024/25年シーズンは、ベルン市立劇場で『エフゲニー・オネーギン』の新演出12公演を指揮するほか、ヤナーチェク・フィルハーモニー管、アルスター管など次々とデビューを重ねる。これまでに、ベルリン・ドイツ響、ポーランド放送響、パリ室内管、ニース・フィルハーモニー、ドレスデン・フィル、オタワ・ナショナル・アーツ・センター管等と共演。今回が初来日となる。



©Julia Jablonska

クシシュトフ・ヤブウォンスキ(ピアノ) Krzysztof Jablonski, Piano

クシシュトフ・ヤブウォンスキは、1985年ワルシャワにおける第11回ショパン国際ピアノコンクールで第3位に入賞、アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノマスターコンクールでゴールド・メダルを受賞したほか、ミラノ、パーム・ビーチ、モンツァ、ダブリン、ニューヨーク、カルガリーにおける各国際ピアノコンクールで数々の賞を受賞している。30年以上にわたってソロ、室内楽、およびオーケストラ共演など、活発に演奏活動を行い、ベルリン・フィルハーモニーの「マスター・コンサートシリーズ」を始め、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、イスラエルの主要ホールで演奏している。オーケストラへの客演としては、ゲルギエフ、ボレイコ、ペンデレツキ、セムコフ、カスプシク、マクシムウク、ノヴァーク、ブリュッヘン、ボーテ、手塚、下野、ヴィット、ヤン・クレンツなどの指揮者と共演。2025年10月に開催される第19回ショパン国際ピアノコンクールでは審査員を務める。



©HOSOO CO., LTD.

小林愛実(ピアノ) Aimi Kobayashi, Piano

2021年10月「第18回ショパン国際ピアノコンクール」第4位入賞。7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たした。数多くの国に招かれ、スビヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ソビエフ指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管など国内外の多数のオーケストラと共演。2010年に14歳でEMI ClassicsよりCDデビューし、サントリーホールで日本人最年少となるリサイタルを開催した。2015年10月「第17回ショパン国際ピアノコンクール」ではファイナリストとなった。2018年にはワーナー・クラシックスとインターナショナル契約し、「ニュー・ステージ〜リスト&ショパンを弾く」をリリース。2021年8月CD「ショパン：前奏曲集他」をリリース。2024年11月に最新CD「シューベルト：4つの即興曲 作品142、ピアノ・ソナタ第19番 ハ短調、ロンド イ長調(連弾)他」をリリース。フィラデルフィア・カーティス音楽院で、マンチェ・リュウ教授のもと研鑽を積んだ。2022年3月、第31回出光音楽賞受賞。



©Grzegorz Mart

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

Warsaw Philharmonic Orchestra

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団は、1901年新たに建設されたフィルハーモニーホールの柿落しとして最初の公演を行った。指揮は楽団の共同創設者・初代音楽監督兼常任指揮者のエミール・ムイナルスキ、ピアノ独奏はイグナツィ・ヤン・パデレフスキであった。第一次世界大戦前から第二次世界大戦までの間に、ポーランドのみならず、ヨーロッパの音楽界においても主要な団体のひとつとなっていた。第二次世界大戦直後、本拠地フィルハーモニーホールが再建され、楽団には国立管弦楽団の称号が与えられた。これまでにヴィトルド・ロヴィツキ、ボーダン・ヴォディチコ、カジミエシュ・コルト、アントニ・ヴィット、ヤツェク・カスプシク、アンドレイ・ボレイコが芸術監督を務めた。今日、ワルシャワ・フィルは世界的人気と高い評価を確立。ショパン国際ピアノコンクールや「ワルシャワの秋」現代音楽祭でも定期的に演奏を続けている。

大阪・関西万博会場へご来場の方へ

大阪・関西万博へのご来場は、電車・バスなどの公共交通機関、尼崎・堺・舞洲のP&R駐車場をご利用ください。

各駐車場からは万博会場(西ゲート)に直接乗り入れるP&Rバスを運行しております。

※原則として万博会場へは自家用車等の乗入れはできません。

詳細は【EXPO 2025 公式サイト】【EXPO 2025 交通インフォメーション】でご確認ください。

<https://www.expo2025.or.jp>

<https://www.transport.expo2025.or.jp>

EXPOホール・シャインハットは万博会場の東ゲートゾーンに位置します。

会場内でご確認の上、お越しください。

